

平成 2 8 年度第 1 回事務事業評価における総括

部 局 名	選挙管理委員会事務局	記入責任者	青木 善明
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>常時啓発に関する事務については、平成 2 8 年の参議院議員通常選挙から選挙権年齢が 1 8 歳以上に引き下げられるため、市内の県立高校や中学校において出前授業を実施し、茅ヶ崎市明るい選挙推進協議会とともに中学生を対象とした選挙啓発標語の募集、文教大学の学園祭での選挙啓発や秋の市民ふれあいまつりにおいても、1 8 歳選挙権引き下げの啓発活動を行い、好評であったことから S 評価としています。</p> <p>4 月に執行された県議会議員及び県知事選挙の目標値（46.00％）比較は▲6.33 ポイント、市議会議員及び市長選挙の目標値（51.00％）では▲4.62 ポイントとなったが、目標値を概ね（80％超）達成できたことから B 評価としています。</p> <p>投票環境の整備・改善に関する事務については、期日前投票所の増設準備や全投票区を見直し 2 箇所の投票区の再編を行い、有権者数の平準化と利便性向上を図るために自治会関係への調整も行い、チラシ配布や広報紙で周知をしましたので、S 評価としています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>選挙の管理執行に関しては、周到な事前準備、従事者への事前説明等により概ね事業の指標を達成しましたが、選挙権年齢が 1 8 歳に引き下げられることなどから、若年層に重点を置いた啓発活動などを粘り強く実施していくことが求められています。また、国・県の財政状況が厳しい中、選挙執行経費の抜本的な見直しが必要となります。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>引き続き各事業については、進めていきますが、選挙執行関連経費の見直しや事業の実施方法の検証を行い、増大する経費の縮減に努めます。</p> <p>選挙権年齢が 1 8 歳以上に引き下げられることに伴い、若い世代への啓発事業に積極的に取り組みます。</p>			